

「材料力学Ⅱ」の成績評価基準表

A: 定期試験	学籍番号	
B: 課題レポート、ノート、報告書	氏名	
C: その他()		

授業目標	到達基準			評価割合(100%)		
	未到達基準	標準基準	優秀基準	A	B	C
1. はりのせん断力図、モーメント図やたわみを求めることができる。	<input type="checkbox"/> はりのせん断力図、モーメント図やたわみを求めることができない。	<input type="checkbox"/> はりのせん断力図、モーメント図やたわみをほぼ求めることができる。	<input type="checkbox"/> はりのせん断力図、モーメント図やたわみを正確に求めることができる。	30	5	
2. 不静定はりの曲げにおいてその解法ができる。	<input type="checkbox"/> 不静定はりを説明できない。 <input type="checkbox"/> 不静定はりの曲げにおいてその解法ができない。	<input type="checkbox"/> 不静定はりを説明できる。 <input type="checkbox"/> 不静定はりの曲げにおいてその解法がほぼできる。	<input type="checkbox"/> 不静定はりを説明できる。 <input type="checkbox"/> 不静定はりの曲げにおいてその解法が正確にできる。	15	3	
3. 丸棒のねじりに関する解法ができる。	<input type="checkbox"/> 丸棒のねじりに関する解法ができない。	<input type="checkbox"/> 丸棒のねじりに関する解法がほぼできる。	<input type="checkbox"/> 丸棒のねじりに関する解法が正確にできる。	10	3	
4. 引張りや曲げ等によるひずみエネルギーを求めることができる。	<input type="checkbox"/> ひずみエネルギーを説明できない。 <input type="checkbox"/> 引張りや曲げ等によるひずみエネルギーを求めることができない。	<input type="checkbox"/> ひずみエネルギーを説明できる。 <input type="checkbox"/> 引張りや曲げ等によるひずみエネルギーを求めることがほぼできる。	<input type="checkbox"/> ひずみエネルギーを説明できる。 <input type="checkbox"/> 引張りや曲げ等によるひずみエネルギーを求めることが正確にできる。	15	3	
5. 柱の座屈応力を求めることができる。	<input type="checkbox"/> 柱の座屈を説明できない。 <input type="checkbox"/> 柱の座屈応力を求めることができない。	<input type="checkbox"/> 柱の座屈を説明できる。 <input type="checkbox"/> 柱の座屈応力を求めることができる。	<input type="checkbox"/> 柱の座屈をわかりやすく説明できる。 <input type="checkbox"/> 柱の座屈応力を求めることができ、安全性についても述べるができる。	10	3	
6. はりの曲げやねじりの具体的事例を挙げ、4年生で修得した知識を用いてたわみやトルクを求めることができる。(C1-2)	<input type="checkbox"/> はりの曲げやねじりの具体的事例を挙げられない。 <input type="checkbox"/> 製品開発のためにCAEを用いた材料力学的検討ができない。	<input type="checkbox"/> はりの曲げやねじりの具体的事例を挙げられる。 <input type="checkbox"/> 製品開発のためにCAEを用いた材料力学的検討ができる。	<input type="checkbox"/> はりの曲げやねじりの具体的事例を挙げられ、その安全性についても述べるができる。 <input type="checkbox"/> 製品開発のためにCAEを用いた材料力学的検討ができない。		3	
備考						